



Japan Association of  
Music Publishing

# 日本楽譜出版協会会報

2017年(平成29年)2月 第31号

## ■ 2017年の年頭にあたって

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
会長 佐々木隆一

新年あけましておめでとうございます。  
会員企業の皆様方には、新たな年を迎え企業の  
発展と皆様方の健勝を祈念いたします。

昨年は、日本楽譜出版協会設立30周年の年  
にあたり、会員企業の皆様、販売協会の皆様、  
ご来賓の皆様にご来席いただき、懇親のひと時  
を持つことができました。当協会会員各社の楽  
譜出版事業活動が、音楽産業や音楽文化の分野  
において果たす重要性を会員各社で共有した次  
第であります。

さて、昨今の音楽市場の現状ですが、コンサ  
ート市場、ライブ活動などの広い意味での楽器演  
奏市場は引き続き堅調に推移しているようであ  
ります。特に、吹奏楽分野はますます市場実態  
が堅調に成長しており、全国で素晴らしい活動  
が広がっております。過去・現在の名曲の数々  
と素晴らしい演奏活動がプロ・アマ問わず連綿  
と続いている市場環境ではありますが、イン  
ターネットやITの発達で楽譜市場の制作、発  
行、流通が大きく変化しております。優れた楽  
曲を多くの演奏者に届けるのは、我々に課され  
た社会的使命ではありますが、インターネットで  
の不正流通や不正コピーに要る被害が年々増大  
しており、正規の楽譜出版社である我々の経営  
資源を蝕んでおります。正規な楽譜出版事業を  
守るためには楽譜出版協会だけでなく、日本音  
楽著作権協会やNextoneなどの著作権管理団  
体と一緒に違法対策に取り組んでいく必要があ  
ります。

楽譜市場のリアル店舗の縮小やネット通販の

拡大など楽譜出版の流通には課題がありますが、  
ネットでのデジタル配信やPOD(プリント  
オン デマンド)などの出版流通手段の複合化に  
積極的に取り組み新刊だけでなく少数印刷に  
よる効率的な重版体制にも積極的に取り組みたい  
と思います。そして、よりコントロールされた  
楽譜出版事業環境の円滑な整備を業界共通の  
課題として取り組み、全加盟各社が安定的な「企  
業経営」の基盤確立に対応されるのが理想と思  
います。古今の名曲や今、演奏者が必要として  
いる楽譜をユーザーが必要としている場所で必  
要としている時間に速やかに届けることが需要  
にこたえる重要なポイントと思います。

また、アジアの音楽市場が急速に発展してお  
ります。アジア経済が活性化し、成長するとと  
もに音楽市場が急激に拡大しております。今や  
日本を凌駕する大きな音楽市場になろうとし  
ている状況です。アジアにおいて音楽先進国で  
あり、楽譜先進国である日本の楽譜出版社の商  
品は多くのアジアの演奏者に必要とされていま  
す。アジアグローバルマーケットでの我が国の  
楽譜出版各社のノウハウや商品は歓迎されてお  
り、BtoB、BtoC問わず、アジア地区との交流  
により、事業進出や企業交流など多様な手段で  
アジアの音楽市場に進出してアジアの音楽文化  
や音楽産業、著作権、出版で国際交流する大き  
なチャンスが来ております。

2017年度は、会員各社にとってよりアグレッ  
シブに事業活動に取り組む年になりますよう念  
願しております。

## ■ 2017年の年頭にあたって

2016年は創立30周年謝恩会、楽器フェア出展、各委員会の研修会等、協会にとって非常にイベントの多い実り多い年でした。また、一昨年から課題に挙がっていたネットワーク上で広がる広告モデルの無料楽譜配信と既存の楽譜出版との関係については、積極的に会員社のご意見を伺ってまいりました。この問題が今後業界に与える影響を鑑み、著作権管理団体との意見交換会などの会合も積極的に開催して、会員社の率直な声を拾い上げることも実施してまいりました。

また、昨年は映像、音楽、出版などの各業界でさまざまな「サブスクリプション（読み放題）サービス」がサービス・インいたしました。放送と通信の垣根を超え、また電子出版の急速な普及とあいまって2017年はまさに音楽業界、出版業界ともデジタル化時代の新しいサービスに対応する力が問われることになろうかと思えます。

当協会では情報事業委員会（97年創設）を母体に、2000年にデジタル楽譜委員会を発足させ、検討を行ってまいりました。残念ながら2010年に委員会は休会となっております。2017年はデジタル楽譜委員会を復活させ、楽譜出版業界として取り組んでいくべき年と考えております。（正式名称については改めて協議）現在、著作権法35条に定める「教育における著作物の権利制限規定」のガイドライン見直しを巡って、文化審議会ではこれまで認められていなかった異時送信、蓄積などデジタル化を前提にした活発な議論が行われております。

協会としては専門性の高い楽譜出版社の団体として楽譜のデジタルへのメディア転換期にあたり積極的に参画、発言していくとともにデジタル化によって非常に便利になる反面、逆に容易になるコピー被害やその対策、啓蒙などにつ

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
理事長 堀家康雄

いて、社会全体に積極的に発信していく必要を痛感しております。会員各社に当委員会へのご参加を呼びかけいたします。なにとぞご協力をお願いいたします。

また、この問題に関しては関係団体との積極的な意見交換や情報収集が非常に重要になってまいります。「文化芸術推進フォーラム」や昨年末発足した「教育利用に関する著作権等管理協議会」への参加を通じて情報収集につとめ、会員社への共有を図ってまいりたいと考えております。

さらに、2017年は「楽譜・音楽書祭り」などリアルな既存楽譜市場の販売再活性化に向けての業界を挙げた取り組みを深化させていくための課題もまだまだ多いとは認識しております。引き続き（一社）全国楽器協会、日本楽譜販売協会など販売関係団体と密接に連携しながら市場の盛り上げを行っていきたくと考えております。

「デジタル」と「リアル」という連携した2つの問題への積極的な取り組みと平行して、総会で検討いただいた課題である新規会員社への加入の働きかけを行っていき、楽譜出版の可能性をさらに広げていくことも重要と考えて活動してまいります。また、昨年決議された賛助会員制度についても更に具体的な検討を加えながら、楽譜・音楽利用者団体を中心に楽譜文化を支えるサポーターを募っていく考えです。

酉年は変化の年ではあるとよく言われます。変化の年ではありますが、変わっていくなかに、逆に変わらない価値を見出しながら皆様とともに楽譜文化を通じて次の40周年に向けて一層業界の発展に寄与できますよう努力してまいります。なにとぞ本年もご指導いただけますようお願い申し上げます。

## ■ 日本楽譜出版協会創立30年を迎えて

1967年に「日本楽譜出版懇話会」として発足し、1986年会員11社により「日本楽譜出版協会」が設立されました。2011年には一般社団法人として法人格を取得し2016年10月に創立30年目を迎えました。これを記念して10月21日に「日本楽譜出版協会創立30周年記念謝恩会」を東京ガーデンパレスで開催いたしました。会場には文化庁をはじめとして関係諸団体より多くのお客様と、また会員各社からも代表者や委員会担当者等が出席して合計で115名の参加者が集いました。以下謝恩会の様子をご紹介します。

開会の挨拶として日本楽譜出版協会会長佐々木隆一より、本協会の現在までの簡単な経緯と楽譜出版業界を取りまく現状とこれからの展望などについて報告があり、続いて来賓の方々より祝辞をいただきました。初めに文化庁長官官房著作権課著作物流通推進室室長補佐兼デジタルコンテンツ流通専門官の池野浩幸氏より本協会の音楽文化における貢献、とりわけ著作権研修会やCARSを通して行っている啓蒙活動などについての評価、それから文化庁が現在行っているTPPに関連した法改正、京都移転問題等についてもお話を頂きました。続いて日本音楽著作権協会の浅石道夫理事長より、楽譜は著作者と演奏家（ユーザー）を結ぶ伝達手段とし不可欠のものでありこれを担う楽譜出版社の役割が重要であること、CARSや文化芸術推進フォーラムなどの活動を通して文化芸術に係わる諸問題について共に取り組んでいく旨のお話を頂きました。引き続き楽譜販売協会会長の大橋洋介氏から「楽譜・音楽書祭り」「楽器フェア」での協力を約束していただき、大橋氏の音頭で乾杯の発声が行なわれました。しばらく歓談の後、来賓の作曲家池辺晋一郎先生のユーモアを交えた楽譜にまつわるお話があり、文化芸術推

一般社団法人 日本楽譜出版協会  
本橋慎弥

進フォーラムの大和滋事務局長から本協会のフォーラム入会までの経緯とフォーラムが現在行っている「文化省創設」に向けての運動の紹介などがありました。その後、会員社有志によるヴィブラホーンの演奏や12名のピアノ連弾、また楽譜販売協会西澤均氏によるピアノ演奏があり、最後に本協会の堀家康雄理事長よりお礼の挨拶を述べてお開きとなりました。

日本楽譜出版協会は対外活動として「楽譜コピーガイドブック」「楽譜ができるまで」「楽譜出版者の役割と固有の権利について」の冊子による啓蒙活動、CARS（楽譜コピー問題協議会）設立、CRIC（公益社団法人著作権情報センター）賛助会員、文化芸術推進フォーラム会員、などの団体加盟による活動を行っています。また、著作権委員会による著作権講座と研修会、制作委員会の研修会など会員社や関連の会社・団体も参加する研修も行っています。販売対策委員会・広報委員会による「楽譜・音楽書祭り」「楽器フェア」を通してユーザーの皆様との交流も深めていきます。今後、日本楽譜出版協会は、協会内や楽譜出版事業の諸問題に対応するとともに、著作者や楽譜の利用者、卸店・販売店、その他関連する諸団体の皆様のご協力のもと次の40周年、50周年を目指して協会活動を行っていきます。





## 委員会活動報告



### 販売対策委員会

販売対策委員長 木村一幸（シンコーミュージック・エンタテイメント）

今年度の販売対策委員会の主な活動は、「楽譜・音楽書祭り2016」と「2016 楽器フェア」での販売ブース＜大楽譜市場2016＞の運営の2つでした。

「楽譜・音楽書祭り2016」は別頁で詳細を記しますが、第4回となった今年度は応募総数もほぼ倍増し、楽譜ユーザーの認知も浸透した感があります。

### 著作権委員会

著作権委員長 菅原敏彦（東京書籍）

今年度の著作権委員会は、例年と同様に、夏の「著作権講座」、秋の「著作権研修会」を2本の柱にして活動を行いました。

7月15日（金）に日本出版クラブ会館で開催した「著作権講座」では、『T P P時代に問う音楽著作権の行方～二次創作、人工知能等をめぐって～』というテーマで、弁護士の福井健策先生と小林利明先生に著作権等の最新動向と今後の展望についてご講演いただきました。

また、11月11日（金）に日本出版クラブ会館で開催した「著作権研修会」では、『デジタル・ネット時代に揺らぐ著作権・

「2016 楽器フェア」は、前回と同様に、東京ビッグサイトにおいて11月4日（金）から6日（日）の3日間で行われました。今回は売り場面積も前回と同程度を確保し、売上目標を400万に設定しましたが、その結果446万円と目標を上回り、2年前の前回とほぼ同額を売り上げることができました。この2年間で楽譜市場は残念ながら右肩下がりの傾向にありましたが、楽譜ユーザーに向けて商品を的確にプレゼンテーションすれば、「まだまだ楽譜は売れる」と実感し、参加各社には大きな自信になりました。

著作者の輪郭～改変・二次創作・AI著作物～』をテーマに、弁護士の大武和夫先生とともに現行著作権法における改変や二次的著作物をめぐる事項を確認し、その上で「音楽」の創作・利用の場面、特に「編曲」に関係する場面を中心に、ケーススタディを交えながら実務的な対応について解説していただきました。

夏の「著作権講座」、秋の「著作権研修会」のいずれにおいてもAI（人工知能）による創作を取り上げましたが、多くの分野ですでに研究開発段階から実用化の段階に入っています。デジタル化やネットワーク化とともにわたしたちの業務や著作権制度などに大きな影響を与える可能性が高く、今後もその動向に注目する必要があります。

しました。出版社の命運を握るのは編集者の企画力であるとの原点に立ち返ってみようという研修でした。編集者の業務範囲は多岐にわたる複雑なものですが、やはりモノを作る基本は企画者の志であることを、改めて実感できたのではないかと思います。

また小冊子「楽譜ができるまで」の10年ぶりとなる改訂版を協会の30周年に合わせて制作しました。

委員会では今後とも有意義な活動を模索し、実現していく所存です。

たしました。

また、昨年3月リニューアルした協会ホームページは、基本、毎月月末に定期更新を行っております。制作した資料・印刷物などもPDFでダウンロードできるようにいたしておりますのでぜひ活用ください。

ホームページの機能については、アンケートや研修会の申し込み等に利用できるよう改良を行っております。秋の著作権研修会では一部受付ができるような改修を行いました。予算やメンテナンス作業の面から大規模な改修は困難ですが、印刷物のコストを削減しつつ、タイムリーな告知や広報ができるよう順次改良してまいります。



## 「2016 楽器フェアについて」

2016年11月4日から6日までの3日間、東京ビッグサイトにおいて「2016 楽器フェア」（日本楽器フェア協会主催）が開催されました。

「楽器と音楽、音をトコトン楽しもう！！」をキャッチコピーとし、2年ぶり、東京ビッグサイトでの2回目のフェアであり、また今回からの試みとして初日の11月4日（金）は、より多くの方がご来場しやすいように午後8時迄の開催となりました。楽器メーカーや販売店、団体など多様な出展者を擁し、楽器の試奏はもちろん、各ブースでは様々なデモンストレーションや講演が、特設ステージやアトリウムでは様々なイベントが開催されました。そして、前回でも好評を博した「販売エリア」をより快適に、簡便にお買い物を楽しんで頂けるように、各ブースの配置などに一層の工夫が凝らされました。また、今回からの試みとして「TOKYO GUITAR SHOW」「GEN」「シンセフェスタ16」「ポタフェス」との合同開催となりました。そういった試みの成果もあり、来場者数においても前回は上回る46,976名（前回は40,647名）もの多くのお客様にご来場頂きました。

会場内は前回以上の来場者数が示す通り、どのブースも多くの来場者で賑わい、中には目的のイベントに急ぐ方やお目当ての楽器を試奏しに急ぐ方など、楽器フェアならではの光景も見られました。そして前回でも感じましたが、今回はさらに学生を始めとする若者

や小さなお子様を連れた家族連れの来場者が増えているように感じられました。憧れの楽器を楽しそうに試奏する学生、自分で手作りした楽器を嬉しそうに持っている子供達などが多く見受けられました。

当協会は、前回同様に「展示」と「販売」の2ヶ所のブースを構築し、楽器フェアをいたしました。展示ブースでは、楽譜コピー問題協議会（CARS）との共同で、コピー問題の啓発活動として、パネル展示とリーフレット配布など、45,000名を超える来場者に向け楽譜のコピーの正しい知識について発信いたしました。一方、販売ブースでは「大楽譜市場2016」と銘打って、前回同様に日本楽譜販売協会様との共催による大型展示即売会を実施いたしました。アウトレットモール内に設営された当協会の販売ブースも、普段はなかなか見ることの出来ない楽譜や書籍、お

## 2016 楽器フェア実行委員 片岡新之助（ケー・エム・ピー）

買い得品を求める大勢のお客様の熱気に満ち、終始盛況のうちに大きなトラブルもなく、最終日の閉幕を迎えることができました。普段はなかなか触れ合えないエンドユーザーの皆様と直に触れ合える貴重な機会でもありました。直接自社の商品をお買い上げ頂ける姿を拝見したり、触れ合うことで初めて分かることも多くあり、そういった意味でも今後の事業においても素晴らしい刺激を受けることができました。しかし、大きなトラブルはなかったとはいえ、小さなトラブルや不備はありました。2018年の楽器フェアに向けて改善すべき点もあり、今後のためにしっかりとした検証をすべきだとも思いました。

最後になりましたが、ご協力いただきました参加社および協会会員各社、ならびに協会事務局、ご賛同いただいた関係各社、多数スタッフと商品提供、そして円滑な運営にご配慮をいただきました日本楽譜販売協会様に対し、感謝御礼申し上げます。





## 関連団体活動報告

文化芸術推進フォーラム 2016年の動きと2017年に向けて 一般社団法人 日本楽譜出版協会 本橋慎弥

5月に提案された活動計画案に基づいて「五輪の年には文化省」のキャンペーンが始まり、賛同者を広めるための葉書送付をはじめとして、11月には美術家による新作展とオークション・東京札幌五輪記録映画の上演会・文化省創設の宣言と公演などが行われ、オークションでは出展作品のほぼ全点が落札され宣言と公演にも多

くの参加者が集まりました。9月には「文化庁移転についての声明」を発表し移転に対する懸念と文化行政の枠組みを拡充する法的対応を進めることを要望しました。また「文化芸術振興基本法」の見直しをめぐり、文化芸術振興議員連盟の10月の勉強会において文化芸術活動を行う者の自主性が

損なわれることの無いよう考慮されるべき旨の提案を取りまとめた要望書を提出しました。

2017年は各構成団体で文化省創設、文化庁移転、そのほかの個別課題に関して検討し4月からの国会審議に対応して要望書を取りまとめ更に運動を活発化していく予定です。

## CARS（楽譜コピー問題協議会）レポート

長年にわたりCARS代表幹事をお務めいただきました小森昭宏先生のご逝去に伴い、昨年7月6日に開催された総会・幹事会において、作曲家の末吉保雄先生が代表幹事に選任され、就任をご快諾いただきました。引続き本会の目的である【発行された楽譜の違法な複製を防止するための活動を通じて、楽譜の適正利用の促進と音楽

著作権の擁護を図り、以って音楽文化の普及発展に資する】を達成するため①関係団体、教育機関、コンクール関係者他へのCARSリーフレット、クリアファイル等の配布。②幅広い分野の音楽雑誌、団体機関紙等への広告掲載。③ウェブサイト「楽譜 de 散歩～CARSメンバーだより」ブログ内での「楽譜のコピーQ&A」項目

## CARS 幹事 韓 貴峰（音楽之友社）

随時更新等の広報活動を主軸とし、事業を実施していくことが確認されました。

前回に続き「2016年楽器フェア（11月4日から三日間）」にCARSがJAMPと共同ブースで参加。楽譜無断コピーに関するパネル展示や、改訂版リーフレット等の配布をCARS、JAMP会員社協力のもと行いました。

## JCOPY2016年後期の動き

2017年3月をもってJRRCより退会することが決定したことに伴い、機構改革の一端として理事の増員（学識経験者・著作者から）がなされ、更にIFRRO加盟に関して事務局との打合せ交渉やIFRRO世界大会での主要メンバーとの会談が行われた。また8月には京都と東京で委託出版社へのJRRC再委託契約解除に

ついでの経緯、今後のJRRCとの連携、JCOPYへの委託契約促進についての説明会が行われた。なお今までJCOPYが行っていた分配金の50%を著作者団体へ配分することに関しての見解がJRRCとJCOPYの間で食い違っていることについて確認作業を継続して行っている。7月の運営委員会では出版会館移転に関して事務局

の新会館への移転を前提とする検討を進めることが了承された。JCOPYとは直接係わらないことではあるとして書協の知財担当部署より「教育利用に関する著作権等管理協議会（仮称）」設置の提案があり、楽譜出版協会は理事会・臨時総会に諮った結果参加することとなった。

## 「楽譜・音楽書祭り2016～6月6日は楽器の日」～既刊本を対象商品にして応募数も倍増へ～

楽譜・音楽書祭り2016 実行委員長 木村一幸

今年度で第四回目を迎えた「楽譜・音楽書祭り2016」は例年通り“6月6日は楽器の日”をはさむ、5月15日から8月31日の期間で行われました。

今回は、既刊本を本格的に対象商品として受け付けました。既刊本を対象商品とすることについては、このキャンペーンを開始した当初からの課題でした。「帯まき」と「帯なし」が混在し、店頭で混乱を招くのではという懸念があったからです。キャンペーン自体も少しユーザーに浸透しだした前回、既刊本を各社1点に限定して実験的に取り入れたところ、市場にも大きな混乱がなかったことから、今回の本格導入に踏み切りました。

その結果、既刊本のエントリー数は69点となり、新刊本の47点を上回る申し込みになりました。総エントリー数も既刊・新刊合計で116点と、目標でありました100点をクリアすることもできました。また、応募総数は2,828通（無効160通含む）と前回の1,527通に比べ185%とほぼ倍増になりました。これは5月15日のスタート時点で多数の既刊本を店頭でディスプレイできた点と売れ行き良好な既刊本を対象としていたからにほかなりません。

現在のところ「帯まき」「帯なし」の混乱もさほどお伺いしていませんので、来年度におきましても「既刊」「新刊」の2本立てで行おうと考えております。一方、反省点としましては、キャンペーンの立ち上げが遅く既刊本の納品が間に合わない、販促品の搬入が遅い等の問題点が上がっております。

来年度につきましては、この反省点を踏まえ、12月中に実行委員会を立ち上げ実施概要を確定し、1月には参加社説明会を行う段取りで、本年度に比べ1～2か月前倒して進行しております。

また、来年度からは販売店様向けに「ディスプレイ大賞(仮題)」を設けることにしました。販売店様に「祭り」対象商品をディスプレイしていただき、写真で応募してもらいます。ご応募いただきましたお店さまにはもちろん参加賞、さらに優秀賞となられたお店には賞品をそれぞれお贈りしたいと企画しております。また、その写真を出版社のSNSで発信することで、課題でした店頭での活性化・情報発信を強化したいと考えております。

### ■概要

キャンペーン：『楽譜・音楽書祭り2016～6月6日は楽器の日』

開催期間：2016年5月15日～8月31日

主催：(一社)日本楽譜出版協会

共催：日本楽譜販売協会

後援：(一社)全国楽器協会  
内容：「帯」応募券による景品応募型の商品キャンペーン

### ■参加出版社 全16社

エー・ティー・エヌ、音楽之友社、学研プラス、カワイ出版、ケイ・エム・ピー、自由現代社、春秋社、シンコーミュージック・エンタテイメント、全音楽譜出版社、中央アート出版社、東音企画、ドレミ楽譜出版社、日研、ヤマハミュージックメディア、ライリスト社、リットーミュージック

### ■協力広報誌 全17誌

教育音楽 小学版・中学版、高校版、Stereo、Band Journal、レコード芸術、音楽の友、ムジカノーヴァ、GiGS、B-PASS、YOUNG GUITAR、月刊Songs、月刊Piano、Go! Go!Guitar、Guitar magazine、Bass magazine、Rhythm&Drums magazine、Sound & Recording magazine

### ■販促 (PR)

店頭用リーフレット 35,000枚  
店頭用スイングPOP 3,000枚

### ■拡販協力店舗 678店

### ■エントリー商品 116点 (昨年度 77点)

既刊本 69点 (同 11点)

新刊本 47点 (同 66点)

### ■賞品の内容

A賞：JTB旅行券(2万円) 3名様

B賞：選べるグルメ券(1万円) 3名様

C賞：ジェフグルメカード(5千円) 20名様

Wチャンス賞：オリジナル・ピアノ柄手ぬぐい 280名様 もしくはQUOカード500円分 300名様

### ■応募数 総数 2,828通 ※無効160通含む (昨年度 1,527通)



京都 JEUGIA 三條本店さまでは素晴らしいタペストリーとコーナー展開をしていただきました。

## 「訃報」

■吉開狭手臣（よしかい きておみ）氏（中央アート出版社代表取締役）が、昨年12月15日肺炎腫のため逝去されました。（享年79歳）

吉開氏は1973年（昭和48年）12月、有限会社中央アート出版社を創設され、音楽の分野では、ジャズの教本、曲集等ジャズを主体とした出版や“オペラ「源氏物語」ができるまで”（三木稔著）等の読み物、他の分野では「家庭健康医学系」の実用書や人文系の図書等、総合出版社として営み今日に至っている。

当協会では、1997年（平成9年）4月、販売対策委員会副委員長に就任され2003年（平成15年）まで活躍されました。

平素から、ジャズを聴くのが好きな人だった。そして、いつも企画のことを考え、出版の方法や販売のことについて研究すること等、仕事が趣味と言われる程仕事熱心な人でした。また、その人柄の良さと仕事ぶりから、社員からも大変信頼されていました。

吉開氏は、昨年11月初めに入院、同月末に退院され自宅で療養され回復に向かっていたと伺いましたが、あまりにも早いご逝去で残念でなりません。ご本人もさぞ無念だったと思います。

安らかなご永眠とご冥福を心よりお祈りいたします。

一合掌一

一般社団法人 日本楽譜出版協会 名誉顧問 内田 豊

## 「一般社団法人日本楽譜出版協会」加盟社一覧（五十音順）（平成29年[2017]年1月10日現在）

会社名	代表者	住 所	ホームページ
アルソ出版(株)	上原 匡人	161-0033 新宿区下落合 3-16-10 大同ビル 3F	<a href="http://www.alsoj.net">http://www.alsoj.net</a>
(株)エー・ティー・エヌ	小林小百合	161-0033 新宿区下落合 3-12-21 目白エミネンス 102 号室	<a href="http://www.atn-inc.jp">http://www.atn-inc.jp</a>
(株)音楽之友社	堀内久美雄	162-8716 新宿区神楽坂 6-30	<a href="http://www.ongakunotomo.co.jp">http://www.ongakunotomo.co.jp</a>
(株)学研プラス（音楽事業チーム）	松村 広行	141-8412 品川区西五反田 2-11-8-18F	<a href="http://gakken.jp/ongaku/">http://gakken.jp/ongaku/</a>
カワイ出版	亀田 正人	161-0034 新宿区上落合 2-13-3 全音楽譜出版社内	<a href="http://editionkawai.jp">http://editionkawai.jp</a>
(株)教育芸術社	市川かおり	171-0051 豊島区長崎 1-12-15	<a href="http://www.kyogei.co.jp/">http://www.kyogei.co.jp/</a>
教育出版(株)	山崎富士雄	101-0051 千代田区神田神保町 2-10	<a href="http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/">http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/</a>
(株)共同音楽出版社	豊田 治男	171-0051 豊島区長崎 3-19-1	<a href="http://www.kyodomusic.jp/">http://www.kyodomusic.jp/</a>
(有)ケイ・エム・ビー	片岡 博久	171-0043 豊島区要町 3-41-10 新東京観光ビル 2F	<a href="http://www.kmp.co.jp">http://www.kmp.co.jp</a>
(株)現代ギター社	倉田 一秀	171-0044 豊島区千早 1-16-14	<a href="http://www.gendaiguitar.com">http://www.gendaiguitar.com</a>
(株)サーベル社	鈴木 廣史	130-0025 墨田区千歳 2-9-13 ルックハイツ两国 1F	<a href="http://www.saber-inc.co.jp/">http://www.saber-inc.co.jp/</a>
(株)ジャパン・ミュージックワークス	北村 聡夫	101-0031 千代田区東神田 1-10-4 新川ビル 902	<a href="http://www.at-elise.com/">http://www.at-elise.com/</a>
(株)自由現代社	竹村 欣治	171-0033 豊島区高田 3-10-10 トレ・サティス・スタジオ 5F	<a href="http://www.j-gendai.co.jp">http://www.j-gendai.co.jp</a>
(株)春秋社	澤畑 吉和	101-0021 千代田区外神田 2-18-6	<a href="http://www.shunjusha.co.jp">http://www.shunjusha.co.jp</a>
(株)シンコーミュージック・エンタテイメント	草野 夏矢	101-8475 千代田区神田小川町 2-1	<a href="http://www.shinko-music.co.jp">http://www.shinko-music.co.jp</a>
(株)鈴木音楽産業	鈴木 萬司	430-0852 浜松市中区領家 2-25-11	<a href="http://www.suzuki-music.co.jp">http://www.suzuki-music.co.jp</a>
(株)全音楽譜出版社	笠井 恒明	161-0034 新宿区上落合 2-13-3	<a href="http://www.zen-on.co.jp">http://www.zen-on.co.jp</a>
(有)中央アート出版社	富澤 勇次	135-0006 江東区常盤 1-18-8 伊東倉庫(株)内	<a href="http://www.chuoart.co.jp">http://www.chuoart.co.jp</a>
(株)東音企画	福田 成康	170-0002 豊島区巢鴨 1-15-1	<a href="http://www.to-on.com">http://www.to-on.com</a>
東京書籍(株)	千石 雅仁	114-8524 北区船場 2-17-1	<a href="http://www.tokyo-shoseki.co.jp">http://www.tokyo-shoseki.co.jp</a>
(株)ドレミ楽譜出版社	山下 浩	171-0033 豊島区高田 3-10-10 トレ・サティス・スタジオ 4F	<a href="http://www.doremi.co.jp">http://www.doremi.co.jp</a>
(株)日研（くおん出版）	吉川 秀雄	577-0065 東大阪市高井田中 3-8-5	<a href="http://nikken-p.com/kuon/">http://nikken-p.com/kuon/</a>
日本キリスト教団出版局	新藤 敦	169-0051 新宿区西早稲田 2-3-18-41	<a href="http://bp-uccj.jp/">http://bp-uccj.jp/</a>
(株)フェアリー	久保 貴靖	110-0004 台東区下谷 1-4-5 ルーナ・ファースト 4F	<a href="http://www.fairysite.com">http://www.fairysite.com</a>
(一般財)ヤマハ音楽振興会	三木 渡	153-8666 目黒区下目黒 3-24-22	<a href="http://www.yamaha-mf.or.jp">http://www.yamaha-mf.or.jp</a>
(株)ヤマハミュージックメディア	須田 直治	171-0033 豊島区高田 3-19-10 昭栄高田馬場ビル	<a href="http://www.ymm.co.jp">http://www.ymm.co.jp</a>
(株)ライリスト社	岩間 昌一	466-0051 名古屋市昭和区御器所 1-6-24	<a href="http://www.lyrist.co.jp">http://www.lyrist.co.jp</a>
(株)リットーミュージック	古森 優	101-0051 千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング	<a href="http://www.rittor-music.co.jp">http://www.rittor-music.co.jp</a>

当協会では随時入会を受け付けております。条件は1.会社の業態として楽譜の出版及び販売を行っていることが明らかであること、2.本会の目的に賛同し、入会金並びに会費を納める者、の2点です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

日本楽譜出版協会会報第31号（2017年2月発行）  
 発行人：佐々木隆一 理事長：堀家康雄 編集人：堀家康雄  
 発行所：一般社団法人 日本楽譜出版協会事務局  
 〒101-0021 千代田区外神田 2-18-21 楽器会館 4F  
 電話 & FAX 03-3257-8797 Eメール ofc@j-gakufu.com  
 ホームページ <http://www.j-gakufu.com>

この日本楽譜出版協会会報の定期購読をご希望の方は、送料のみのご負担で受け付けております。事務局までご連絡下さい。